

平成 25 年 11 月 13 日

各 位

株式会社バルクホールディングス
代表取締役社長 大竹 雅治
(コード番号:2467 名証セントレックス)
問合せ先:取締役管理本部長 五十嵐 雅人
電話番号:03-5649-2500 (代表)

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と 実績値との差異 (上方修正) に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 17 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日) の業績予想値と本日公表の実績値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 690	百万円 △8	百万円 △5	百万円 △8	円 銭 △1.30
実績値 (B)	669	3	4	1	0.24
増減額 (B - A)	△20	12	10	9	—
増減率 (%)	△3.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	510	3	7	8	1.95

(注) 当社は、平成 25 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株を 100 株に分割し、1 単元の株式の数を 100 株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算定しています。

2. 差異発生 の理由

当第 2 四半期累計連結業績は、売上高につきましては、グループ全体で、既存顧客及び新規顧客への積極的な営業活動、ウェブ戦略の継続的な実施を行った結果、各事業とも順調に推移いたしました。マーケティング事業のセールスプロモーション及び広告代理事業において、当初見込みより受注が減少したことにより、当初予想を下回る結果となりました。

営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、利益率の高い案件の獲得、原価費用の内製化など事業経費の削減、その他経費効率の改善等に努めた結果、当初予想を上回る結果となりました。

3. 通期業績予想

通期の予想につきましては、現時点では不確定要素を多く含んでいるため、当初予想の売上高 1,431 百万円、営業利益 20 百万円、経常利益 25 百万円、当期純利益 22 百万円を据え置くことといたしますが、今後の業績推移に応じて修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上